

Minami Kyushu University Syllabus								
シラバス年度	2021	開講キャンパス		宮崎キャンパス	開設学科		管理栄養学科	
科目名称 [英語名称]	栄養教育各論Ⅱ [Nutritional EducationⅡ]				実務経験 教員担当	○	アクティブ ラーニング	○
科目コード	303000	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	3年次	
教員氏名	渡邊 純子				学位授与の方針 との関連	DP1(1) DP1(2) DP2(1) DP3(5)		
授業概要	<p>総論、各論Ⅰで学んだ理論や展開方法を用いて、ライフステージ・ライフスタイルに応じた個別栄養教育、ならびに集団栄養教育のあり方や具体的方法について、また障がい者やスポーツ時に応じた栄養教育、食物・情報へのアクセスに必要な食環境づくりについても習得します。【態度・志向性の育成】</p> <p>管理栄養士は栄養教育の対象と機会を常に認識し、自らも周りに働きかけて栄養教育の目的を遂行することが求められているため、関係機関と連携した組織づくり・地域づくりおよび食環境づくりの重要性についても学びます。管理栄養士として行政・病院・学校等で勤務した経験に基づき、実践的栄養教育に必要な知識について講義を行います。</p> <p>授業期間中において学ぶことはできても、身につけることができない資質・能力については関連する授業科目や諸活動等を通して学びます【生涯学習力の育成】。</p>							
関連する科目	<p>栄養教育総論・栄養教育各論Ⅰを事前に、履修後は、栄養教育論実習Ⅰ・Ⅱを履修して、栄養教育に関連する知識と技術の習得を目指します。</p>							
授業の進め方と方法	<p>授業内容の復習と確認のために、毎回「確認テスト」を実施します。</p> <p>授業は主に講義方式で行いますが、課題を与えてディスカッションをしたり、2人一組でロールプレイをするなど、アクティブラーニング型の授業を展開します。また理解を深めるため、スライドのほか、DVD教材等の活用で学びを深めるとともに、「確認テスト」を通して課題に対する自らの考えをレポートで表現します。【汎用的技能の育成】</p>							
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 妊婦・授乳期の栄養教育の特徴と留意点 各ライフステージの特徴と栄養教育上の課題について学ぶ。</li> <li>2 乳児期の栄養教育の特徴と留意点</li> <li>3 幼児期の栄養教育の特徴と留意点</li> <li>4 学童期の栄養教育の特徴と留意点</li> <li>5 思春期の栄養教育の特徴と留意点</li> <li>6 若年成人期の栄養教育の特徴と留意点</li> <li>7 成人期の栄養教育の特徴と留意点</li> <li>8 高齢者の栄養教育の特徴と留意点 各ライフステージにおける問題解決のための栄養教育について学ぶ。</li> <li>9 障害者の栄養教育の特徴と留意点</li> <li>10 傷病者の栄養教育の特徴と留意点</li> <li>11 各機関での栄養教育(臨床現場)</li> <li>12 各機関での栄養教育(公衆栄養現場・特定給食施設)</li> <li>13 食環境づくりと栄養教育(食物のアクセス)</li> <li>14 食環境づくりと栄養教育(情報のアクセス) 食環境づくりの重要性と管理栄養士の果たす役割について学ぶ。</li> <li>15 栄養教育と関係法規</li> <li>16 定期試験</li> </ol>							
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 栄養教育は健康の保持・増進・生活の質・人生の質の向上に寄与することが目的であり、望ましい食行動の形成と確立を目指す人間教育を行うためには人の行動を全人的に理解することが重要であることを理解する【知識・理解の育成】【態度・志向性の育成】。</li> <li>2 行動変容促進のための理論や技法、栄養カウンセリングにおける初回面接やコミュニケーションについて習得する【汎用的技能の育成】</li> </ol>							
授業時間外の学修	<p>次回の授業範囲について予習する(1時間)。</p> <p>人の行動の特性について行動科学の学びの中から得た知識や認識を復習する(1時間)。</p> <p>新聞・テレビ・雑誌・インターネット等に掲載される情報に関心を持ち、それを5W1H「いつ(When)、どこで(Where)、だれが(Who)、なにを(What)、なぜ(Why)、どのように(How)」の6つの要素を中心にまとめて把握し、それに対する自分なりの意見を考え、文章にする習慣を身につける(1時間)。</p>							
課題に対するフィードバック	確認テスト、レポート、最終試験は評価後、返却及び解説をする。	評価方法			<p>以上の結果を総合して評価する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 第2回授業以降の毎回の確認テスト30点</li> <li>2) 授業への取り組み状況(授業態度、理由のない遅刻・早退含む)20点</li> <li>3) 定期試験50点</li> </ol>			
テキスト	『管理栄養士講座 栄養教育論 第3版』中村丁次・外山健二・笠原賀子編著 健帛社(4180円、「各論Ⅰ」共通)							
参考書	『改訂マスター栄養教育論』逸見幾代・佐藤香苗 編著 健帛社 健康・栄養科学シリーズ『栄養教育論』丸山千寿子・足達淑子・武見ゆかり 編集 南江堂 『行動変容のための面接レッスン 行動カウンセリングの実践』足達淑子著 医歯薬出版							
備考								